

# 文献を引用して 説得力のあるレポート にしよう

レポート・論文作成講座 第3回  
実用編

## 本日の内容 3

STEP6 文献の読解

STEP7 最終アウトラインの作成

STEP8 執筆・校正

## リサーチ系のレポート 5

レポート②

内容

ファーストフードによる子どもの食生活への影響について調べ、自分の考えを述べなさい

要件

- A4用紙（40行40文字）1枚程度
- 表紙を付けること
- 文献を2つ以上利用すること

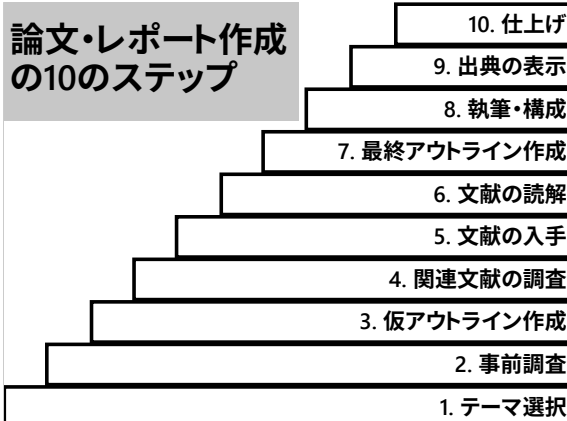
## レポート中に使えるのはどれでしょう？ 7



## 情報の評価点 9

- 図書
  - 著者、出版社、シリーズ、引用の有無など
- 雑誌記事・論文
  - 引用の有無、査読の有無、著者など
- 新聞記事
  - 署名記事かどうか、など
- ウェブサイト
  - URL、著者の情報、など

## 論文・レポート作成 の10のステップ



## 復習系のレポート 4

レポート①

内容

ファーストフードによる子どもの食生活への影響について、自分の考えを述べなさい

要件

- A4用紙（40行40文字）1枚程度
- 表紙を付けること

## STEP6 文献の読解

## 学術情報とは 8

学術研究の成果として生み出された情報およびそれがさらに編集、圧縮、加工されて生成された情報。（『図書館情報学用語辞典第4版』より）

- 条件
  - 学術的な目的で書かれた文章
  - 引用と出典の明示
- レポート = 学術情報
  - 学術情報の中では学術情報の利用を！

## 引用リストの例 10

引用図書

- [1] Abadie, A. (2005) "Semiparametric Difference-in-Differences Estimators," *Review of Economics Studies*, Vol. 72, pp. 1-19.
- [2] Abadie, A. and Imbens, G.W. (2006) "Large Sample Properties of Matching Estimators for Average Treatment Effects," *Econometrics*, Vol. 74, pp. 235-267.
- [3] Adigüzel, F. and Wedel, M. (2008) "Split Questionnaire Design for Massive Surveys," *Journal of Marketing Research*, Vol. 45, pp. 608-617.
- [4] Amemiya, T. (1985) *Advanced Econometrics*, Cambridge, MA: Harvard University Press.
- [5] Angrit, J., Bettinger, E., Bloom, E., King, E., and Kremer, M. (2002) "Vouchers for Private Schooling in Colombia: Evidence from a Randomized Natural Experiment," *American Economic Review*, Vol. 92, pp. 1535-1558.
- [6] Angrit, J.D., Imbens, G.W., and Rubin, D.B. (1996) "Identification of Causal Effects Using Instrumental Variables," *Journal of the American Statistical Association*, Vol. 91, pp. 444-455.
- [7] Ashenfelter, E. and Card, D. (1985) "Using the Longitudinal Structure of Earnings to Estimate the Effect of Training Programs," *Review of Economics and Statistics*, Vol. 67, pp. 648-660.
- [8] Bang, H. and Robins, J.M. (2005) "Doubly Robust Estimation in Missing Data and Causal Inference Models," *Biometrics*, Vol. 61, pp. 962-972.
- [9] Bernardo, J. and Smith, A.F.M. (2000) *Bayesian Theory*, New York, NY: Wiley.

一般雑誌と学術雑誌 11



雑誌の評価: 引用の有無 13

引用

緒言

近年、10代の若年層から高齢者までの幅広い年齢層において、口唇の乾燥感を訴える者が増加している<sup>1)</sup>。その原因として、更年期障害を含む加齢<sup>2)</sup>、常用薬剤の副作用<sup>3)</sup>、シェーグレン症候群などの全身的要因<sup>4)</sup>、ファストフードやソフトフードを日常的に摂取するなどの「痛まなくなっている」食生活習慣的要因<sup>5)</sup>、ストレスなどの精神的要因<sup>6)</sup>さらには口呼吸<sup>7)</sup>などさま

出典

文献

- 1) 林本保明, 西原達次: デンタルハイジーン別冊 歯と口唇乾燥症. 医歯薬出版, 東京, 第1版, 2003, 34-52頁.
- 2) Billings RJ, Proskin HM, Moss ME. Xerostomia and associated factors in a community-dwelling adult population. Community Dent Oral Epidemiol 24: 312-316, 1996.
- 3) Niederfort T, Saksson R, Mitzner H et al. Prevalence of perceived symptoms of dry mouth in an older Swedish population: relation to age, sex and pharmacotherapy. Community Dent Oral Epidemiol 25: 211-216, 1997.
- 4) Bergbahl M. Saliva flow and oral complaints in adult dental patients. Community Dent Oral Epidemiol 28: 59-66, 2000.
- 5) Locker D. Subjective reports of oral dryness in an older adult population. Community Dent Oral Epidemiol 21: 165-168, 1993.

兼平が「女子中高生における口やのどの乾燥に関連した自覚徴候に共通する要因」より

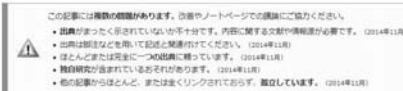
ウェブ上の文書の評価 15

- go.jp=日本の政府機関のサイト
- ac.jp=日本の高等教育機関なども



Wikipediaの良くないところ 17

- 根拠に乏しい記事が少ない
- 悪い記事
- 二重投稿



二重投稿 (にじゅうとうこう) とは、文字・写真・動画など同じ作品を複数の情報、記事などの媒体や作品公開に記録・出版・出品する行為である。権利や商業上の利益と権利の観点により原則として禁止されていることが多い。

●良い記事

概要 (概要) 雑太鼓と狂 (当たり狂) を組み合わせたドンドン太鼓などの演奏。および雑言や雑言を交ぜ、俗語によって前向きながら、俗語の固定した地域・店舗へ人呼び込み<sup>[1]</sup>。また雑言した上で音の口上やどうやら聞きなれた商品の購入を促す。街を走りながら行う演奏を「前廻り」、移動せず演奏を行う演奏を「前つき」とい<sup>[2]</sup>。21世紀の現在では存在そのものが少なくなったため、自治体の祭りや会場に呼び出されることも多い。

レポートで使える範囲 19

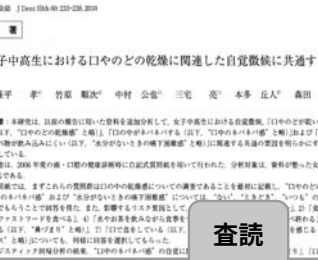


雑誌論文の例



12

雑誌の評価: 査読の有無 14

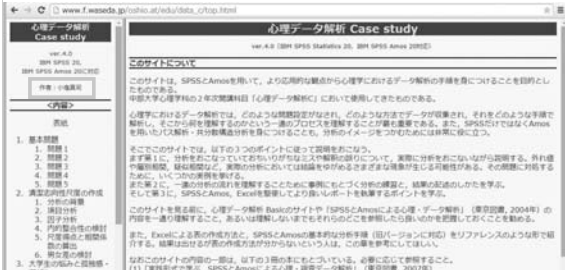


査読

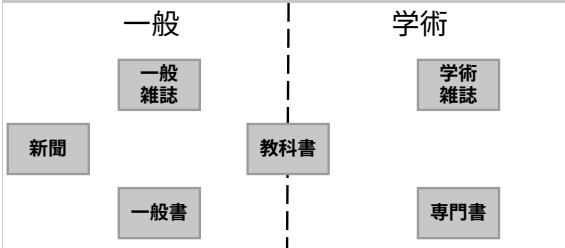
口唇乾燥症: 233-238, 2010 (受付: 平成 21 年 8 月 17 日 / 受理: 平成 22 年 7 月 1 日)

ウェブサイトの評価 16

●著者から判断



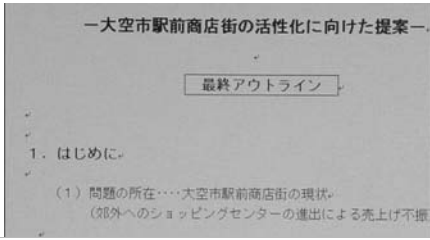
レポートに使える情報の範囲 18



STEP7 最終アウトラインの作成



- 文献調査で入手した情報に基づいて、**アウトラインを再構成**  
=結論に至るまでの思考の道筋を示す



## STEP8 執筆・校正

- 適切に「、」、「。」で文章を区切る
- できるだけ文章は短く簡潔に

- 段落を作る
- 段落は、1字下げ

字下げ

本レポートではファーストフードが子供の食生活に与える影響を考えるに当たりはじめに日本でどのようにファーストフードが受け入れられてきたかを調べたところ、ファーストフードはアメリカから1970年代頃に日本に輸入され低価格で手軽な食事として、ファミリー層や低年齢の子どもにも常的に利用されるようになってきたことがわかりました。

本レポートではファーストフードが子供の食生活に与える影響について検討する。  
はじめに日本でどのようにファーストフードが受け入れられてきたかを調べた。ファーストフードは、アメリカから1970年代頃に日本に輸入された。そして、低価格で手軽な食事として、ファミリー層や低年齢の子どもにも常的に利用されるようになってきた。



- 自分の経験や主張だけ
- 思いついたことをそのまま



- 先行文献の内容を整理
- 説得力

～は「・・・」と述べている。

- 元の[ ]する
- 引用部分を「 」などで示し、文献リストに出典を示す
- 引用の際、元の文章を一字一句すべてそのまま引用する(修正してはいけない)

1. 日本におけるファーストフード
  - 日本でのファーストフードの登場:1970年代に日本に(文献1より)
  - 特に若者たちに外国の食文化として歓迎され、その後、低価格で手軽な食事として、ファミリー層や低年齢の子どもにも常的に利用されるようになっていった(文献1より)
2. ファーストフードの子どもの食生活への影響
  - しかし現在では、負の側面が指摘されることが多くなっている
  - ファーストフードの高カロリーで栄養価が低い点や肥満への影響への指摘(文献2,3)
  - 子どもの食生活の変化による味覚の未発達などへの影響の調査(文献4)
  - 企業の低年齢層へのマーケティングの強化も問題視されている(文献5)
3. 子どもの食生活を守るために
  - 親がもっと関心を払うよう指導を行うべき
  - 企業の低年齢層への広告などは規制を行うべき

- 項目 + 引用する文献

- [ ]で書く
  - ×ですます調「～と思いました」
  - である調「～である」「～考えた」
- 著名な学者・研究者でも、学術的に同じ立場で言及する
  - ×「～先生は・・・と仰っています」
  - 「～は・・・と述べている」
- 適切に見出しを設定する

なメディアとして用いられている。学術的なコミュニケーションを成立させるために、学術論文は、内容や表現形式が高度に定式化された特性を持っているとされており、専門的かつ論理的な記述であるという内容的特性だけでなく、文献の参照、抄

### 引用文献

- 1) 倉田敬子. 学術情報流通とオープン・アクセス. 勁草書房, 2007, 196p.
- 2) デイ, R・A; ガステル, B. 世界に通じる科学英語論文の書き方: 執筆・投稿・査読・発表.

### 直接引用

- ～は「・・・」と述べている。

### 間接引用

- ～の論文では・・・であることが示されている。

前コロラド大学総長のゴードン・ギーは、情報リテラシー概念の登場に関して、「情報リテラシーを身に付けた市民の育成という、より幅広い要求に対しては、コンピュータ重視のやり方では不適切なことが、その後、数年のうちに明らかになった」と述べている<sup>1)</sup>。

(引用文献)

- 1) ブレイビク, ギー. 『情報を使う力』勁草書房, 1995年。

## 間接引用 31

～の論文では・・・であることが述べられている。

- 元の文章を[ ] 引用する
- 内容を引用した部分,または引用した文章の終わりに引用を示す印(文献番号,著者名と出版年)などを入れ,文献リストに典拠を示す

## 著作権法上の引用 33

(引用)

第三十二条 公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行なわれるものでなければならない。

## 引用のタブー 35

- 剽窃(ひょうせつ)
  - 本文中で引用部分を示さず,出典を明らかにせず他者の文章を利用すること
  - コピペ
- 孫引き(まごびき)
  - 誰かが引用している内容について,元の情報を確認せずに,引用すること

## 間接引用の例 32

前コロラド大学総長のゴードン・ギーは、情報リテラシー概念の登場に関して、情報リテラシーを身に付けた市民の育成のためには、コンピュータ中心の教育では不適切であることを述べている<sup>1)</sup>。

(引用文献)

1) ブレイビク, ギー. 『情報を使う力』勁草書房, 1995年。

## 引用の要件(文化庁) 34

1. 引用する資料等は既に公表されているものであること
2. 「公正な慣行」に合致すること
3. 報道、批評、研究などのための「正当な範囲内」であること
4. 引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること
5. カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること
6. 引用を行う必然性があること
7. 出所の明示が必要なこと(複製以外はその慣行があるとき)(第48条)

著作権なるほど質問箱 [http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/answer.asp?Q\\_ID=0000581](http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/answer.asp?Q_ID=0000581)

## 引用初心者あるある! 36

配布資料参照

次回書式を整えて、  
仕上編レポートを  
(12/15,18)仕上げよう